

令和元年度 千種区ACP研修会（概論編） アンケート結果

日時： 令和元年 7月 31日（水） 14:00～16:00

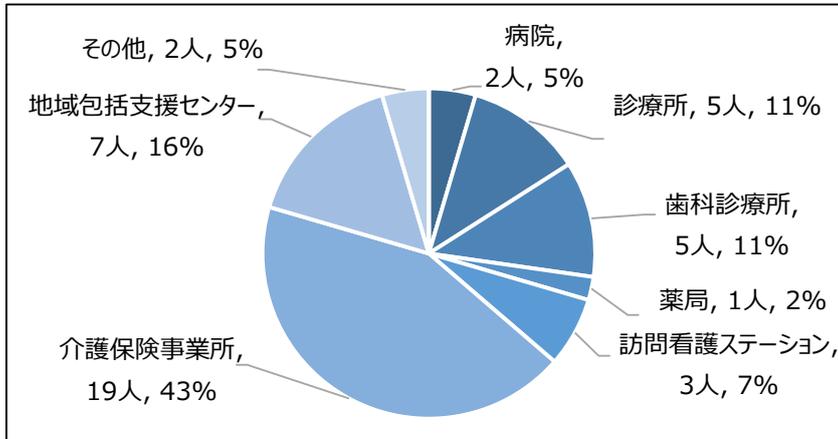
場所： 千種区医師会館

アンケート回収率： 98%（アンケート記入者44名/参加者45名）

1. 参加者ご自身について

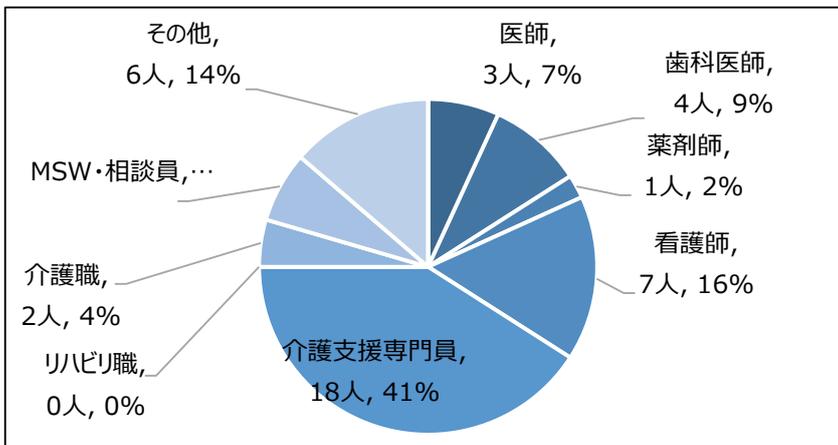
①所属を教えてください

(n=44)



②職種を教えてください

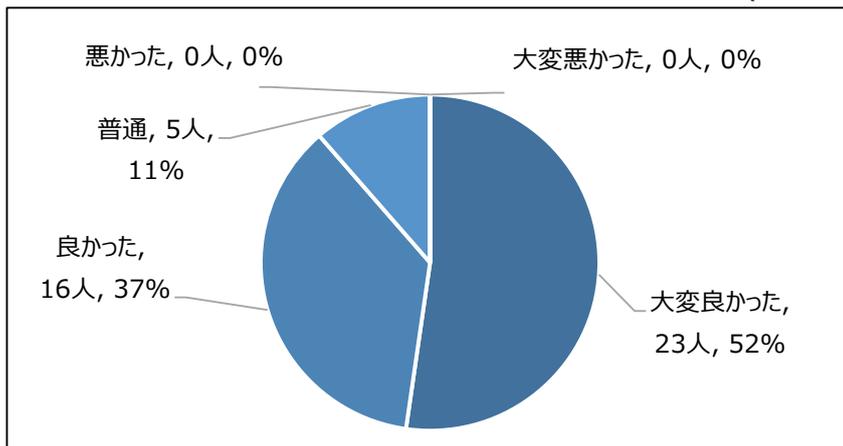
(n=44)



2. 講義（ACP概論）について

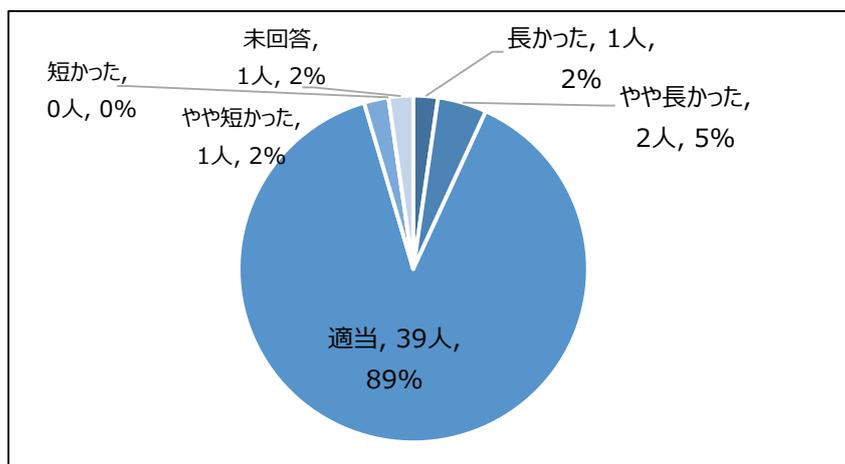
①内容はいかがでしたか？

(n=44)



②時間はいかがでしたか？

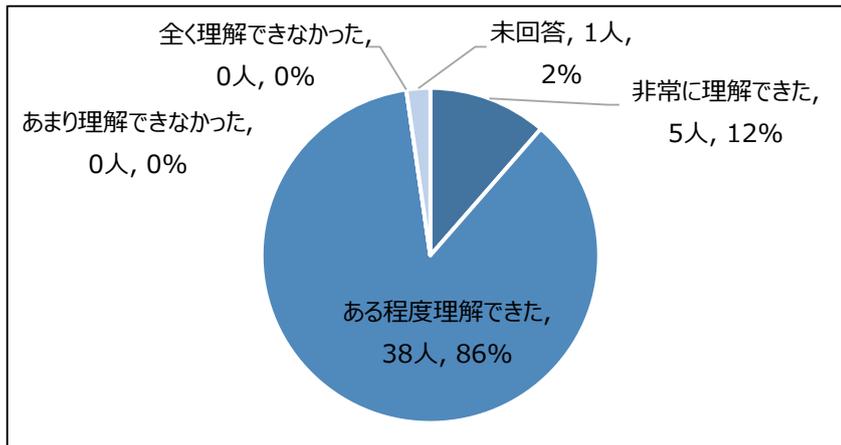
(n=44)



3. グループワークについて

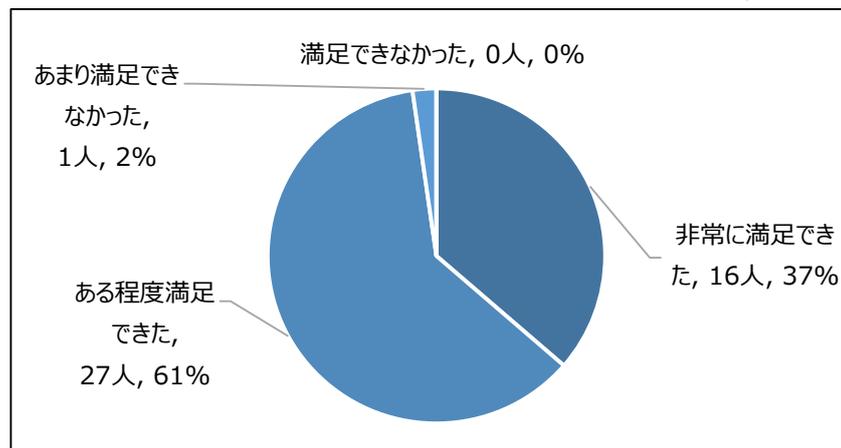
(n=44)

① ねらい（①どんなときにACPの話を切り出せるか？②どの段階でACPを始めるのが有効か？）は理解できましたか



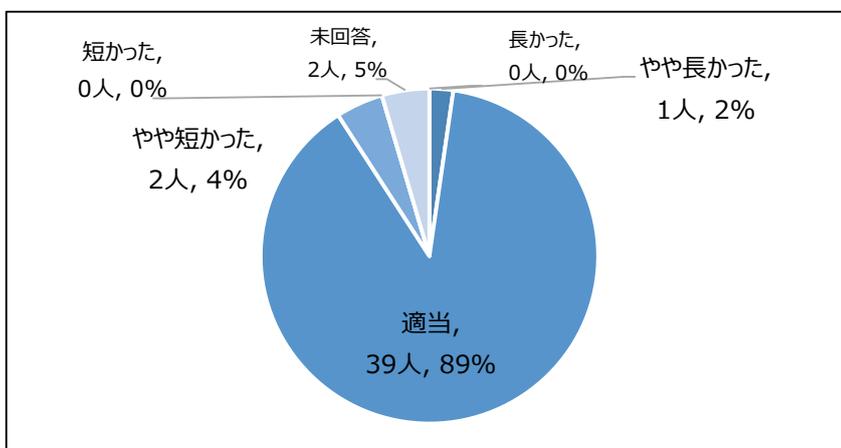
② ディスカッションは満足できましたか

(n=44)



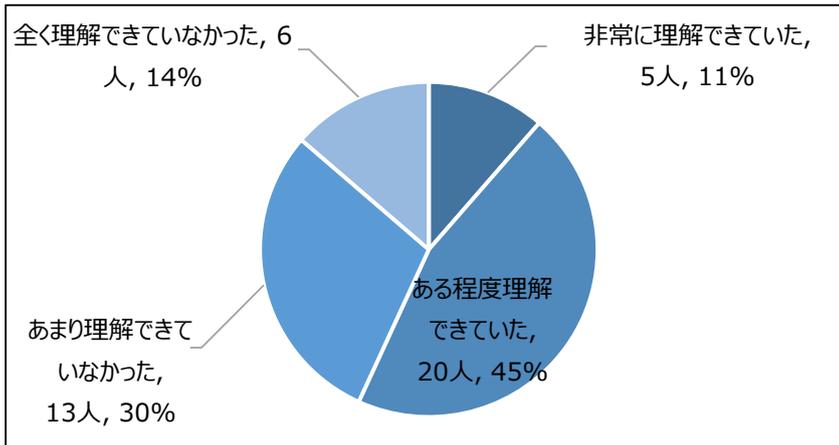
③ 時間（ディスカッション・発表）は適当でしたか

(n=44)

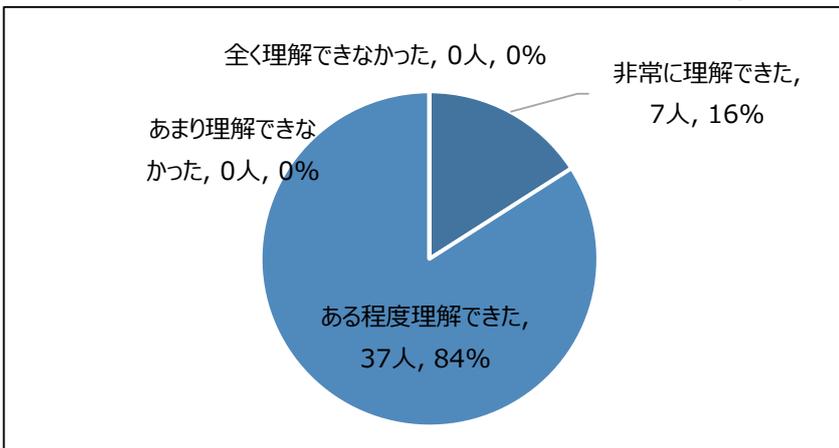


4. 本ACP研修会について

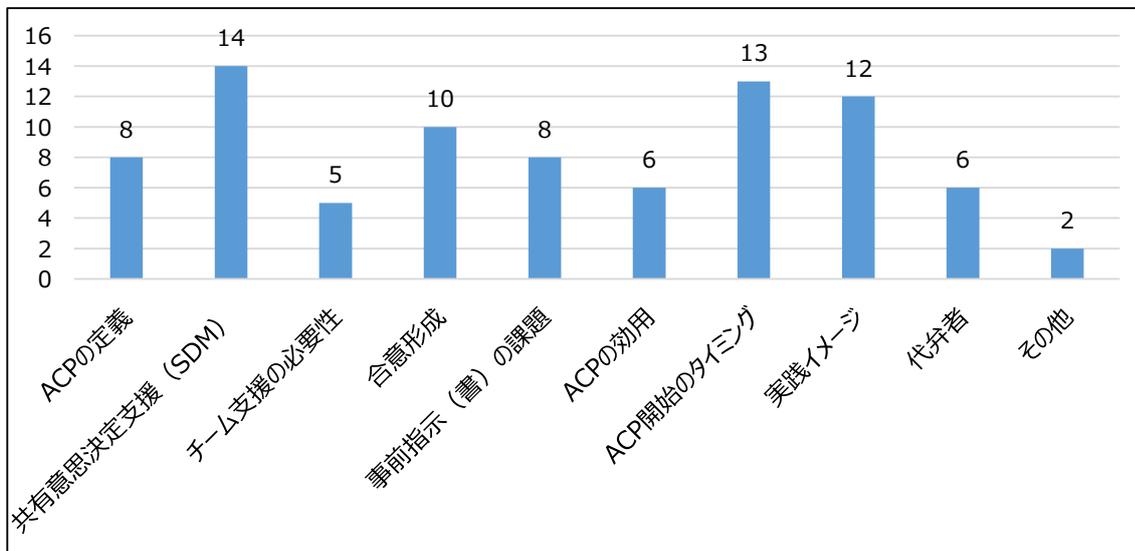
① 本研修会参加前のACPの理解についてお答えください (n=44)



② 本研修会参加後のACPの理解についてお答えください (n=44)

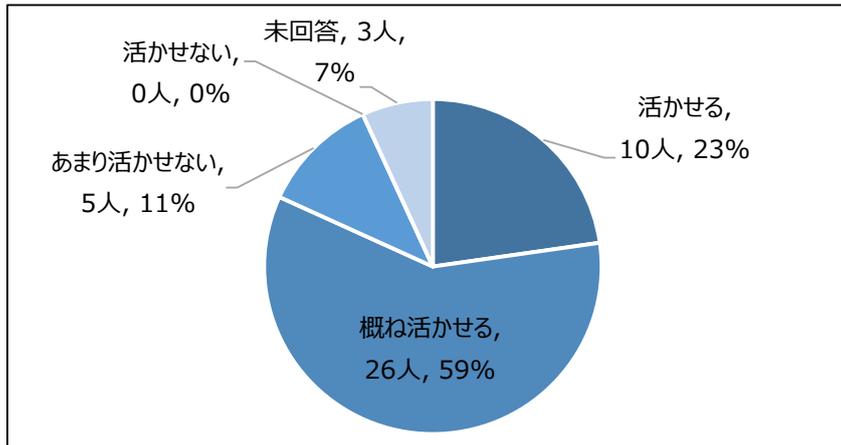


③ 本研修会で理解が難しかった点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)

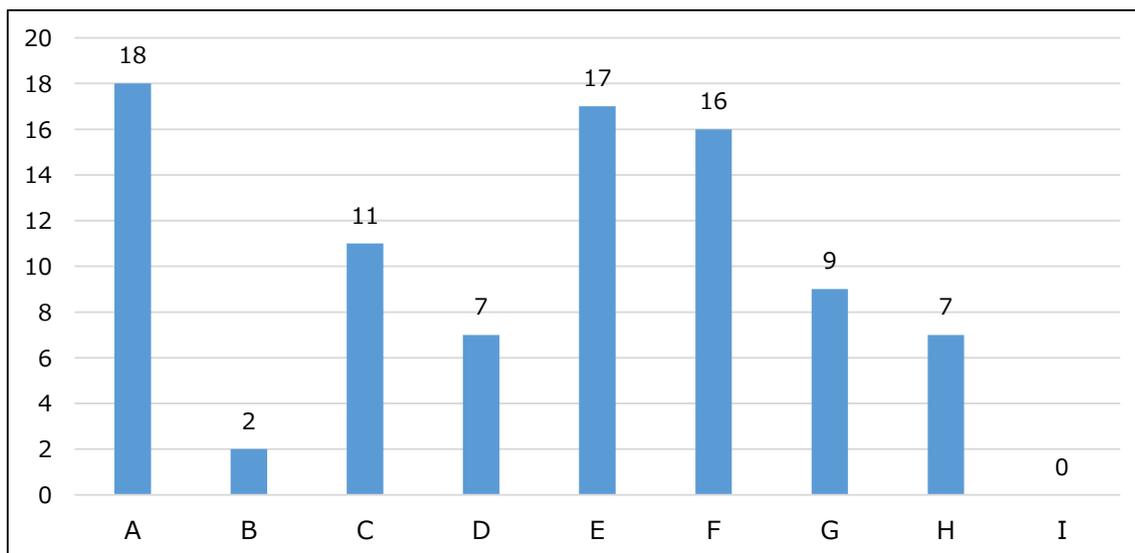


④ 本研修会の内容は、今後の実践に活かされますか

(n=44)



⑤ 実践する上で困難と感じる点について、具体的にご記入下さい。(複数選択可)



- A: チーム内（多職種）の意欲・理解深度の差
- B: 職場内（上司等）での理解が得にくい
- C: 日常業務の多忙
- D: 患者・家族・市民の無関心
- E: 始めるタイミング、きっかけ
- F: 言葉かけの手法、技術
- G: 言語化・表出されるものが真意であるかの汲み取り
- H: 信頼関係の構築
- I: その他

5. 本日の研修、また今後の研修へのご意見やご要望等をお聞かせください

- ・今後は支援を患者が求め、要支援～要介護の等級が決まり、実際に何らかの支援が開始される段階で、ACPを認識させる必要があると思いました。
- ・ACP導入が困難と思われる事例をいくつか取り上げて頂きたいです。
- ・とてもためになりました。有難いです。
- ・ACP的なことを実践していたのかもしれませんが、今後は、より意識して、実践していきたいと思います。
- ・ACP 初めての研修、もっと深く知りたい。
- ・理解は深まりましたが、実践に結びつけることが課題と思っています。意識して取り組みたいと思います。
- ・がん末期の看取りを含め、在宅での最後を支援するものとしては、改めて学べる場として、参加させて頂きありがとうございました。
- ・尾山先生のお話がとてもわかりやすかったです。
- ・しっかり勉強して、実践できるようにしていきたい。
- ・ACPIについての研修に初めて参加させていただきました。ACPと構えるのではなく、普段から、その方の生活歴や価値観について理解を深められるような関係を、まず、築くことが重要かなと思いました。
- ・市民への浸透は難しい。皆さんの積極的な発言もあり、深く共有できたのではないかと思われる。死生観教育は必須と感じた。
- ・はじめて聞く言葉で内容も難しかったが、言葉を知ることができ良かったです。
- ・ACPの導入について、他職種との連携が難しい。まず、立場によって、意見を集約できる機会があれば良いと思う。
- ・この研修で、理解できていないところが理解できました。内容の性質上、グループディスカッション中心がよいと思う。
- ・ACPIについて、実際に利用者様に対して、どのタイミングで行った方がよいのかを、その方、その方に合って、考えていきたいと思えます。医師、保健師等の方のご意見をいただき、とても参考になりました。
- ・ACPをすすめるにあたり、まずは決めてもらう本人、家族が知らないとなかなかすすめにくい。啓発活動も同時に行っていく必要があると思う。尾山医師の言っていた死に対する考えのハードル。
- ・とても有意義でした。ありがとうございました。
- ・他事業所、職種の方と意見ができ、とても良かったです。